

▽発信元・お問い合わせ先はこちら
「人材ビジネスの発展を通じてヒトの成長を迫る」
株式会社ヒューマンビジネス・コンサルティング
TEL : 03-6909-8644/0120-973-644
E mail:info@hb-consulting.jp

労組47年ぶり1000万人割れ 非正規増加が影響

厚生労働省は全国の労働組合員数が6月末現在で前年より9万3000人減り、996万1000人となったと発表した。1000万人を下回ったのは47年ぶり。非正規雇用の増加が影響しているとみられる。

派遣ユニオン（東京）の関根秀一郎書記長は「非正規労働者は『労組加入で会社側から目を付けられ、契約を切られないか』と心配する。加入して労働条件の改善を求めるのも難しい状況がある」と話している。

組合数は前年比316減で2万6051。パート労働者の組合員数は5万人増え77万6000人だった。

産業別にみると、卸売り・小売業が1万3000人増、医療・福祉が8000人増。これに対し建設業は4万5000人減、製造業は2万3000人減だった。

ナショナルセンター別では連合が3万3000人減の669万9000人。全労連が1万6000人減の62万人、全国労働組合連絡協議会（全労協）が5000人減の11万3000人だった。

労働組合の推定組織率は東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県を除くと18.4%。3県では算出の基となる総務省の労働力調査が実施できなかった。前年は全国で18.5%だった。3県の組合員数は計1万1000人減少した。

平成23年12月27日 Sankei Biz